

設定

netbeans の起動時のオプションの指定は、以下の 2 通りの方法がある。

- ・ コマンドラインのオプション
- ・ 設定ファイル

両方に設定をした場合は、コマンドラインのオプションが有効になる。

起動オプション

`--jdkhome`

jdk のパスを実行時に指定する

`--userdir`

NetBeans の設定を保存するディレクトリを指定する。

`--laf`

ルックアンドフィールを起動時に指定する

```
--laf javax.swing.plaf.metal.MetalLookAndFeel
```

`--locale C`

ユーザインターフェースの言語

`-J`

NetBeans の設定ではなく JavaVM に直接渡すオプションを指定する

```
netbeans -J-Xmx64m
```

設定ファイル

<http://wiki.netbeans.org/FaqNetbeansConfJa>

設定ファイルのパス

全ユーザ共通

```
${nb-install}/etc/netbeans.conf
```

ユーザごとの設定

```
${userdir}/etc/netbeans.conf
```

`netbeans_default_userdir`

userdir のデフォルトの場所。このエントリはグローバル設定ファイルでのみ有効

`netbeans_default_options`

JVM に渡されるパラメータ、あるいは `--fontsize` や他のスイッチなどの NetBeans のメモリーパラメータやデバッグオプションなどです。

```
netbeans_default_options=" --laf javax.swing.plaf.metal.MetalLookAndFeel"
```

を追加する事により起動時のルックアンドフィールを変更する事が可能
個人的に以下のオプションがオススメ。

```
--fontsize 14 -J-Dawt.useSystemAAFontSettings=on --laf javax.swing.plaf.metal.MetalLookAndFeel
```

netbeans_jdkhome

NetBeans で使用する JDK の場所です。 --jdkhome スイッチで上書きできます。

ポータブル化

/etc/netbeans.conf を以下のように編集し、ユーザー設定を置きたいところを指定します。

```
netbeans_default_userdir="${HOME}/.netbeans/6.1"
```

となっているところを、

```
netbeans_default_userdir="( ディレクトリをドライブ抜きで指定 )%.netbeans%6.1"
```

のなどのように編集します。

```
例：  
netbeans_default_userdir="%software%.netbeans%6.1"
```

必要なら JDK も USB メディアにインストールします。

```
例：  
e:%software%Java%jdk1.6.0_06 に JDK をインストール。
```

JDK も USB メディアにインストールしたなら、その設定も必要になります。
以下、etc/netbeans.conf の編集例です。

```
例：  
netbeans_jdkhome="%software%Java%jdk1.6.0_06"
```

実行コンソールの文字コード

ant で実行時にコンソールの文字が化けることがある。
原因は、Windows のコンソールに UTF-8 で出力するため。

```
build-impl.xml
```

の

```
<property name="runtime.encoding" value="{source.encoding}"/>
```

を

```
<property name="runtime.encoding" value="MS932"/>
```

などとする。